慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	コンタクト・ポイントとしての「東京ビエンナーレ 1970 : 人間と物質」展
Sub Title	"Tokyo biennale 1970 : between man and matter" as contact point
Author	渡部, 葉子(Watanabe, Yoko)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	近年特に現代美術の分野で重視, 注目されている展覧会史研究のひとつとして「東京ビエンナーレ 1970 : 人間と物質」展についての実証的研究を行った。 海外作家を含む出品作家複数名へのインタビューの実施に向けての関係の構築, 基礎調査を実施した(リチャード・セラ氏取扱画廊Gagosian Gallery, 小清水漸氏, 堀川紀夫氏など)。また, 同展事務局でコミッショナー中原祐介をアシスタントした峯村敏明氏, 同展の展示アシスタント的役割および写真記録も残した安齊重男氏の両氏に対する関連調査も行った。国立国際美術館で開催された「態度が形になるとき : 安齊重男による日本の70年代美術」展の詳細調査を実施した。 ニューヨーク近代美術館のアーカイヴにおいて, 中原の調査時期にあたる1968-69年の資料調査を行った。特にセス・ジーゲローブ関係の資料を集中して調査し, 大きな研究的成果を得ることができた。 9月末には英国リーズ, ヘンリー・ムーア・インスティテュートにて高松次郎展(Jiro Takamatsu : Temperature of Sculpture)の関連イベントとして「東京ビエンナーレ1970」展および2つの1970年に開催された展覧会の合わせて3つを取り上げてて論じるレクチャーを行った。近年欧米で評価の高まっているもの派周辺の作家について日本の研究者が発表する機会は少なく, その意味でも有意義な講義であったといえよう。また, 12月には岐阜おおがきビエンナーレにて, 2016年に開催したアーカイヴ資料展「東京ビエンナーレ1970再び」を展覧会史研究に位置づける研究発表を行った。 更に同展の公式記録写真家の一人であった大辻清司のアーカイヴを所蔵する武蔵野美術大学美術館・図書館では大辻アーカイヴのセクションの一つを「東京ビエンナーレ'70『人間と物質』」としているが, その所管資料を同展の撮影足跡を追う形で資料集として刊行する準備を進めており, それに対する研究協力をした。 Research on "Tokyo Biennale 1970 : Between Man and Matter" in the context of Exhibition Histories. Research and preparation for interviewing the participated artists (Richard Serra/Gagosian Gallery, Susumu Koshimizu, Michio Horikawa, etc.) Brief interview and related research with Toshiaki Minemura and Shigeo Anzai. Minemura assisted Yusuke Nakahara, curator of Tokyo Biennale 1970, and Anzai assisted artists (Richard Serra, among others) and photographed the exhibition. Detailed Research on the exhibition "When Attitudes Become Form : Japanese Art of the 1970s through the Photography of Anzaï Shigeo", which held at National Museum of Art, Osaka. Research at Museum of Modern Art Art Archives (NYC). Mainly exhibition materials of 1968-69. Intensive research in Seth Siegelaub Papers. Gave a lecture on Jiro Takamatsu at "Jiro Takamatsu: Temperature of Sculpture", Henry Moore Institute, Leeds in September. Gave a presentation regarding "Tokyo Biennale 1970 revisited" (Keio University Art Center, 2016) at Ogaki Biennale 2017 held in IAMAS in December. Research support for Kiyoji Otsuji Archive at Musashino Art University on publishing book on Otsuji's photograph of Tokyo Biennale '70. Otsuji was one of the official photographers of that exhibition.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000001-20170082

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2018 年 4 月 4 日

2017 年度　学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

研究代表者	所属	アート・センター	職名	教授（有期）	補助額	500 （特B）千円
	氏名	渡部 葉子	氏名（英語）	Yohko Watanabe		

研究課題（日本語）

コンタクト・ポイントとしての「東京ビエンナーレ 1970：人間と物質」展

研究課題（英訳）

"Tokyo Biennale 1970: Between Man and Matter" as contact point

１．研究成果実績の概要

近年特に現代美術の分野で重視、注目されている展覧会史研究のひとつとして「東京ビエンナーレ 1970：人間と物質」展についての実証的研究を行った。
海外作家を含む出品作家複数名へのインタビューの実施に向けての関係の構築、基礎調査を実施した（リチャード・セラ氏取扱画廊 Gagosian Gallery, 小清水漸氏、堀川紀夫氏など）。また、同展事務局でコミッショナー中原祐介をアシスタントした峯村敏明氏、同展の展示アシスタント的役割および写真記録も残した安齊重男氏の両氏に対する関連調査も行った。国立国際美術館で開催された「態度が形になるとき—安齊重男による日本の 70 年代美術—」展の詳細調査を実施した。
ニューヨーク近代美術館のアーカイヴにおいて、中原の調査時期にあたる 1968-69 年の資料調査を行った。特にセス・ジーゲローブ関係の資料を集中して調査し、大きな研究的成果を得ることができた。
9 月末には英国リーズ、ヘンリー・ムーア・インスティテュートにて高松次郎展(Jiro Takamatsu: Temperature of Sculpture)の関連イベントとして「東京ビエンナーレ 1970」展および２つの 1970 年に開催された展覧会の合わせて 3 つを取り上げてて論じるレクチャーを行った。近年欧米で評価の高まっているもの派周辺の作家について日本の研究者が発表する機会は少なく、その意味でも有意義な講義であったといえよう。また、12 月には岐阜おおがきビエンナーレにて、2016 年に開催したアーカイヴ資料展「東京ビエンナーレ 1970 再び」を展覧会史研究に位置づける研究発表を行った。
更に同展の公式記録写真家の一人であった大辻清司のアーカイヴを所蔵する武蔵野美術大学美術館・図書館では大辻アーカイヴのセクションの一つを「東京ビエンナーレ'70『人間と物質』」としているが、その所管資料を同展の撮影足跡を追う形で資料集として刊行する準備を進めており、それに対する研究協力をした。

２．研究成果実績の概要（英訳）

Research on "Tokyo Biennale 1970: Between Man and Matter" in the context of Exhibition Histories.
Research and preparation for interviewing the participated artists (Richard Serra/ Gagosian Gallery, Susumu Koshimizu, Michio Horikawa, etc.)
Brief interview and related research with Toshiaki Minemura and Shigeo Anzai. Minemura assisted Yusuke Nakahara, curator of Tokyo Biennale 1970, and Anzai assisted artists (Richard Serra, among others) and photographed the exhibition. Detailed Research on the exhibition "When Attitudes Become Form:Japanese Art of the 1970s through the Photography of Anzaï Shigeo", which held at National Museum of Art, Osaka.
Research at Museum of Modern Art Art Archives (NYC). Mainly exhibition materials of 1968-69. Intensive research in Seth Siegelaub Papers.
Gave a lecture on Jiro Takamatsu at "Jiro Takamatsu: Temperature of Sculpture", Henry Moore Institute, Leeds in September. Gave a presentation regarding "Tokyo Biennale 1970 revisited"(Keio University Art Center, 2016) at Ogaki Biennale 2017 held in IAMAS in December.
Research support for Kiyoji Otsuji Archive at Musashino Art University on publishing book on Otsuji's photograph of Tokyo Biennale '70. Otsuji was one of the official photographers of that exhibition.

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）
Yohko Watanabe	Jiro Takamatsu and Three Exhibitions in 1970	Exhibition:Jiro Takamatsu: Temperature of Sculpture	Henry Moore Institute
渡部葉子	出来事から出来事へ一何が行われたのか、そしてそれを今どう見るのか？	岐阜おおがきビエンナーレ 2017 シンポジウム	情報科学芸術大学院大学